

(株)JA里浦ファーム (徳島県鳴門市)

実証面積：3.2ha

実証課題名 栽培条件分析に基づくスマート農業技術による生産性の高い砂地畑農業体系の実証

構成員 徳島県立農林水産総合技術支援センター、(株)JA里浦ファーム、JA里浦、JA全農とくしま、(株)日本農業サポート研究所



背景・課題 徳島県のさつまいも栽培は、作業の多くが機械化されているものの、ほ場への移植は手作業で生産者の負担が大きく、また収穫後貯蔵中に腐敗するイモの発生が多いなど課題がある。併せて、化学肥料の高騰や新たな病害虫の被害増加も懸念されることから、対策が急務となっている。

本実証プロジェクトにける想い



鳴門市里浦地区の風景

徳島県鳴門市里浦地域は古くから砂地畑園芸に取り組み、砂地畑の特徴である排水性の良さを活かして高品質なさつまいも・だいこんが生産されている。

本県の砂地畑で生産されるさつまいも「なると金時」は地域団体商標を取得し、里浦地域ではブランド化をより進めたさつまいも「里むすめ」の海外輸出もなされており好評である。

この産地を舞台にスマート農業技術を導入し、化学肥料の節減、病害虫の検知、作業の省力化による労働時間削減、貯蔵時の腐敗率低減等により、収益向上を目指す。

また、持続可能な砂地畑園芸の経営モデルの実証を行い、県内砂地畑産地全体へ波及させ、砂地畑スマート農業の実装に取り組む。

- 目標**
- さつまいも移植機の導入による移植作業時間の20%以上削減。
 - ドローンを活用したセンシング等による化学肥料10%低減、化学農薬20%削減。
 - 出荷量増による収支の5%向上。

実証する技術体系の概要

要素技術 ①さつまいも移植機、②ほ場環境観測装置、③ドローンによる生育・病害虫センシング、④貯蔵環境観測・制御装置

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる」ポイント		①		②	③						④	

①徳島県の移植方法に適したさつまいも移植機

②ほ場環境観測

③ドローンによる生育・病害虫センシング

④貯蔵環境観測・制御

問い合わせ先

▶ **実証代表** 徳島県立農林水産総合技術支援センター高度技術支援課
 ▶ **視察等の受入について** JA 里浦 電話：088-685-2111